

<一般委託>

平成30年度特別展示「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」展示製作委託 仕様書

平成30年度特別展示「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」展示製作委託 に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	横須賀市自然・人文博物館における展示教育普及のため
2	履行期間	契約日から平成30年11月30日
3	施行場所	特別展示室(人文館3階)
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	
6	関係法規	
7	資格要件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 ・平成25年4月1日以降に、公立であるか私立であるかを問わず博物館との間において、展示製作業務の契約を、元請けとして締結し完了した実績があること。
8	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
9	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監督員 連絡先	横須賀市自然・人文博物館 一般職員 内船俊樹 電話046-824-3688 FAX046-824-3658

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。</p>
----------------------------------	---

## 「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」事業概要

### はじめに

チョウ、トンボ、カブトムシ／クワガタなど、横須賀に暮らす私たちの周りには様々な昆虫が生息しています。スズメバチもまた身近な昆虫であるものの、しばしば人間に危害を加える「危険な生物」としての側面ばかりがクローズアップされ、その姿や暮らしを観察する機会は少ないと考えられます。

博物館では、2010 年から保健所生活衛生課と共同で衛生害虫としてのスズメバチ類の発生量や効果的なトラップの開発に向けた調査を行っています。本展示ではこの調査を通じて明らかになったスズメバチ類の姿や暮らしについて、スズメバチの標本や本物の巣だけでなく、大型模型や五感に訴える展示などを通じて、普段は間近で見られないスズメバチの世界を体験しながら学べる展示を行います。

博物館ではまた、身近で多様な昆虫について具体的な種を通じて学ぶ方策を研究しています。2014 年には「地域コア昆虫種」として、横須賀とその周辺地域の既知昆虫種約 4,000 種の中から多様性・分類教育に資する 100 種を選定し、昆虫の世界を分かりやすく伝える活動を行ってきました。このたび、この 100 種を核としてより細やかな指導に対応するための 500 種を選定したことから、その顔ぶれを一堂に紹介します。

### 展示期間

平成 30 年 7 月 28 日(土) ～ 平成 30 年 11 月 4 日(日)

### 展示内容

#### 0. 展示コンセプト：「冒険心をかき立てる展示」

本展示はテーマの一部にスズメバチとその生態を含んでいるが、「危険・怖い」イメージが先行しないように、デザインに配慮する。

→別紙仕様書「J. 企画デザイン」

#### 1. 展示区画①：エントランス（入口ゲート及びトピック展示）

大きな入口にゲートを設置して開口を狭めることにより、展示への期待を高めながらゲートをくぐれるようにする。ゲートの向こうには、目を惹く映像モニターを組み込んだトピック展示架台を設置し、架台の上の半球内には近づいて見られる標本を展示する。

デザインは夏の到来や昆虫への関心を高めるものとし、ゲートの前で記念写真を撮りたくなるようなものとする。

→別紙仕様書「A. 入口ゲートおよびトピック展示」

#### 2. 展示区画②：さわれる展示 1

長机 1 台にスズメバチの巣などを触って体験できるコーナーを設置する。自作パネル掲示と目隠し

用にパーテーション2枚を設置するが、パーテーションにはスズメバチの巣を模したパターン出力シートを貼付する。

→別紙仕様書「B. パーテーション装飾」

### 3. 展示区画③：ウォールケース

展示室の1長辺を占め、部屋全体の印象を大きく左右するウォールケースには、内部の背面と手前上部に色布を貼って展示室の雰囲気を高める。架台は通常の直方体の架台の上にL字型の標本箱用架台を載せるが、前者の前面と天面の一部には化粧を施す。標本箱用架台には標本箱15箱を展示し、標本箱と同形の自作解説パネルを掲出する。

→別紙仕様書「C. ウォールケース・架台装飾」

### 4. 展示区画④：昆虫以外の標本展示・さわれる展示2

展示室最奥の1短辺に沿って展示架台と長机、自作解説パネルを配置する。身近な昆虫をとりまく動植物にも注目してもらうため、架台には大型哺乳類のはく製を展示し、長机には植物の葉のパウチシートなどをさわれるように置く。

→別紙仕様書「C. ウォールケース・架台装飾」

### 5. 展示区画⑤：オオスズメバチの巣穴体験

スズメバチの幼虫になった気分を体験できるように、床面およびパーテーションを巣の内部の画像パターンの出力シートで装飾するとともに、室内中央に育房（スズメバチの幼虫が暮らす六角形の部屋）をパーテーションで再現する。内部に標本箱の展示架台と卵の模型を展示し、上部には顔をのぞかせた女王バチをイメージした大型模型を設置する。模型を下から照らすための照明装置を設置するとともに、育房内の雰囲気を出すため餌を要求するスズメバチの幼虫が発する音を自動再生する。

オオスズメバチ頭部の大型模型は特別展示終了後に館内の別の展示室に移設する。

→別紙仕様書「D. 床面装飾」「E. 照明および音声装置」「F. オオスズメバチ頭部の大型模型」

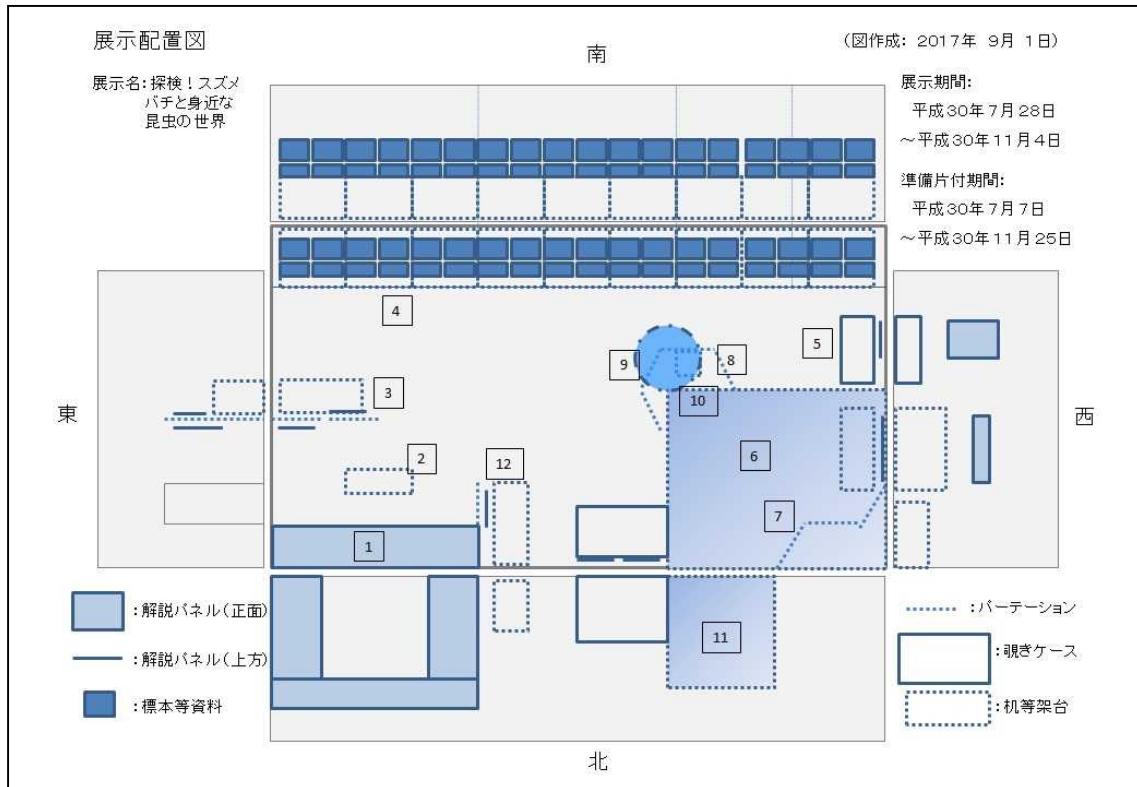
「G. 標本箱架台と模型」「K. 大型模型移設」

### 6. 展示区画⑥：もっと調べるスズメバチ

展示室を時計回り方向に回った最後のコーナーには、①横須賀市におけるスズメバチの調査をより詳しく知っていただくための展示、②横須賀市ならびに三浦半島で見つかったスズメバチ7種の標本を間近で眺められるケースや、スズメバチの幼虫の糞などさわれる昆虫資料のケースを机上展示します。

→別紙仕様書「H. 壁面装飾」「I. 長机上設置用アクリルケース」

別紙図



- 1: 入口ゲート造作
- 2: トピック展示 (映像および標本の一部展示) の架台造作およびモニター設置
- 3: さわれる展示① (スズメバチ等) の背面パーテーション装飾
- 4: ウォールケース (昆虫標本 500 種展示) 装飾
- 5: はく製展示架台装飾
- 6: 床面装飾
- 7: さわれる展示② (植物) の周辺パーテーション装飾
- 8: パーテーション装飾・照明および音声装置設置
- 9: オオスズメバチ頭部の大型模型製作
- 10: 標本箱架台および卵模型制作
- 11: 覗きケース (トラップ調査展示) の周辺壁面の装飾
- 12: 作業机 (スズメバチ 7 種ぬり絵) の背面パーテーション装飾

項目	品名および仕様	数量	単位
A	入口ゲートおよびトピック展示		
	<p>①入口ゲート（別紙図1）</p> <p>◎外寸:w3700×h2400×d600mm(展示室入口の内寸に調整)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左右の柱:w900×d600mm</li> <li>・ゲート開口部:w1900×h1900)</li> </ul> <p>木工造作とする。タイトル看板を兼ねるため出力シート貼付による化粧を施す（東柱：三面化粧、西柱：四面化粧、梁：三面化粧）。印刷は展示期間中の耐用性を保障するインクの使用もしくはラミネート等加工を施す。転倒を防ぐため、十分な強度の吊り下げ金具を付ける。テキストや画像は電子データで支給（配置・デザイン提案については仕様J参照）。</p>	1	台
	<p>②トピック展示用架台（別紙図2）</p> <p>◎外寸:w1200×h900×d400mm</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前面にデジタルフォトフレーム（w400×h300mm程度）を横並びに2基嵌め込み（デジタルフォトフレームは設定時間にスライドショーの開始/終了ができる機種を選定する。スライドショーコンテンツは当館制作提供）</li> <li>・上面に直径約200mmの半球型の小型覗きケース3つを配置（半球内底部には針や針金を挿して固定できるスタイロフォーム等素材を20mm厚で敷設し、敷設後の半球底面と架台天板の面を同じレベルにする。展示期間中に移動や入れ替えができるよう、小型覗きケースは開け閉めに耐える構造とする）</li> </ul> <p>木工造作とし、出力シート貼付による化粧を施す（五面化粧）。印刷は展示期間中の耐用性を保障するインクの使用もしくはラミネート等加工を施す。転倒防止措置を講じる。テキストや画像は電子データで支給（配置・デザイン提案については仕様J参照）。</p>	1	台
B	パーティション装飾（別紙図3, 7, 8及び12）		
	<p>◎パーティション（当館現有:w900×h1800mm）に対する出力シート貼付による化粧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2枚両面貼付（別紙図3）</li> <li>・3枚片面貼付（別紙図7）</li> <li>・4枚両面貼付（別紙図8）</li> </ul>	17	枚

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 枚両面貼付（別紙図 3）</li> </ul> <p>印刷は展示期間中の耐用性を保障するインクの使用もしくはラミネート等加工を施す。貼付によるパーテーションの損耗を最小限に抑えること。出力データは提供素材を元にしたパターン制作（デザイン提案については仕様 J 参照）。</p>		
C	ウォールケース・架台装飾		
	<p>①ウォールケース背面及び前面装飾（別紙図 4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケース内背面色布装飾（w11000×h1500mm）</li> <li>・ ケース内手前色布装飾（w11000×h400mm）</li> </ul> <p>いずれも生地には防火性能をもたせる。ケース内手前色布装飾については、折りひだ（プリーツ）をつける。背面設置による壁面の損耗を最小限に抑えること。</p>	2	面
	<p>②展示架台装飾パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウォールケース内架台（w1200×h700×d1000mm）9 台の二面化粧（各台、前面上部：w1200mm×h600mm と天面手前：w1200×d300mm）（別紙図 4）</li> <li>・ 架台（w1200×h450×d600mm）1 台の二面化粧（前面及び天面）（別紙図 5）</li> </ul> <p>出力シート貼付による化粧を施し、印刷は展示期間中の耐用性を保障するインクの使用もしくはラミネート等加工を施す。貼付による架台の損耗を最小限に抑えること。画像は電子データで支給（デザイン提案については仕様 J 参照）。</p>	20	枚
D	床面装飾（別紙図 6）		
	<p>◎w4000×d3300 程度の出力シートによる床面装飾</p> <p>長机やパーテーションなどと重なる部分に切欠きを作るなど、長方形からの変化を入れる。上を歩くことを想定し、展示期間中の耐用性を保障するインクの使用もしくはラミネート等加工を施すとともに、展示期間（約 3 ヶ月）中に剥がれないようにする。貼付による床面の損耗を最小限に抑えること。画像は電子データで支給（デザイン提案については仕様 J 参照）。</p>	1	式
E	照明および音声装置（別紙図 8）		
	<p>①照明装置（LED 照明 2 種）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼光色線形 LED 照明 4 台</li> </ul>	6	台

	<p>・電球色スポット LED 照明 2 台</p> <p>パーテーション 4 枚で半円形に囲まれた空間（スズメバチの六角形の育房の四辺をイメージ）の直上に吊下げる模型（仕様 F 参照）を下方から照らすため、4 枚のパーテーション各上辺に線形の LED 照明を設置する。空間内部の展示を照らすため、スポット LED 照明を設置する（常時点灯。各電源は天井を経由して供給）。</p>		
	<p>②音声装置</p> <p>前項①の空間内に入ると、センサー反応毎 1 回音声データを再生する装置を設置する。装置は 20 秒程度の音声データ（提供素材を加工）を SD カード等で読込できるものとし、展示期間（約 3 ヶ月）中の連続使用に耐えられるものとする（各電源は天井を経由して供給）。</p>	1	台
F	<p>模型制作（別紙図 9, 10）</p>		
	<p>①オオスズメバチ頭部の大型模型（w1200×h1200×d300mm）</p> <p>オオスズメバチの頭部を模した大型模型。パーテーションで囲った「巣穴」を上から「覗いて」いるように天井から吊る。上記のサイズに触角は含まない。表面は光沢がある仕上がりとし、形態や表面構造や色をできるだけ再現（微細な毛の再現は不要）するとともに大顎・小顎・下唇などの口器が分かるよう、顎（あご）を開いた状態を再現（非可動）する。モデルとして画像及び実物を提供する。</p> <p>展示終了後も館内の別の展示スペースへ移設する（展示移設については仕様 K 参照）ため、移設に必要なビス穴や補強材を事前に講じる点や、長期（10 年）にわたって耐用可能な素材・工法（FRP もしくはそれに準じた耐久性を有するもの）で制作する点に留意する（来館者が触れるようには設置しない）。</p>	1	個
	<p>②さわれるオオスズメバチの卵模型</p> <p>ラグビーボール大に合皮を縫い合わせ綿を詰め、端部をパーテーションにビス固定する。期間中の破損に備え 2 個制作。</p>	2	個
G	<p>標本箱架台及び暖簾（別紙図 10）</p>		
	<p>①展示架台（w400×h900×d400mm）</p> <p>木製造作。パーテーションと固定させて安定。天面を傾斜</p>	1	台

	(手前 h700mm) させ標本箱 (w420×h60×d260mm) を固定。四面化粧は単色とする。		
	②暖簾 (のれん) (w1500×h300mm) パーテーションで囲まれた空間に入って初めてオオスズメバチ頭部の大型模型が視界に入るための工夫として、パーテーション囲いの入口上部に梁を渡して暖簾を設置する。生地はパーテーション装飾と同系色の単色とし、梁は暖簾の使用に耐えられる強度とし、中央部を天井から吊下げるなどして安定を図る。	1	枚
H	壁面装飾 (別紙図 11)		
	パーテーション装飾 (仕様 B 参照) と同じパターンで約 2000×2000mm を装飾	1	枚
I	長机上設置用アクリルケース (別紙図 12)		
	①さわれる小物収納用透明ケース 外寸 w380×h50×d260mm 程度の 4×3 室の仕切りを有する蓋なしケース。当館現有の長机に天板を加工することなく固定できるようにする。	1	台
	②スズメバチ類 7 種標本展示横長透明ケース 外寸 w550×h70×d80mm 程度の 6 面ケース。側面を外して中身の交換が可能 (来館者に開けられないようにする。当館現有の長机に天板を加工することなく固定できるようにする。	1	台
J	企画デザイン		
	展示コンセプト「冒険心をかき立てる展示」に沿って統一されたデザインを提案するとともに、デザインに沿ってゲート・パネルを画像・テキストを配置すること。	1	式
K	大型模型移設		
	◎スズメバチ頭部の大型模型 (仕様 F ①参照) の館内設置 模型を館内に安定して取付けるため、コンクリート壁面に取付架台 (合板製) とともに設置する。特別展示とは模型の取付け角度が異なる (特別展示では顔が下向き、移設後は顔が横向き) ので、模型にゆがみが生じないよう必要に応じて補強を行う。取付	1	式



	架台はアンカーボルトで壁面に固定し、取付架台と模型は L アン グルを用いて強固に固定する。		
L	その他		
	本展示事業を滞りなく実行するために必要な準備および撤収 に係る施工費、撤去作業費、運搬費、消耗品などを費目ごとに計 上すること。	各 1	式

#### 備 考

1. 納入期限 平成 30 年 7 月 27 日(金)

※大型造作物等の搬入・設置は 7 月 23 日(月)

2. 納入場所 横須賀市自然・人文博物館 3 階 特別展示室

3. その他

(1)本案件には、制作納品された展示物の取り付けを含む。

(2)制作納品された展示物の破損の原状回復について、特別展示期間中に監督員から別  
途指示があった場合には、受託者の負担で原状回復を行うこと（但し、破損の原因  
者が特定でき、かつその破損が故意によるものと委託者が判断した場合を除く）。

(3)パーテーション、長机、一部の架台（仕様 C ②）、吊り下げパネル類のワイヤー、  
フックは博物館現有品を使用。

(4)ゲートや什器の制作にあたっては、展示中、来場者への安全を配慮して制作するこ  
と。

4. 担 当

横須賀市自然・人文博物館 昆虫・陸上無脊椎動物担当 内船俊樹

(電話 046-824-3688、Fax046-824-3658)